

第7章 未来(あす)を見つめたまちづくり 第2節 市民参加・情報共有

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
秘書室	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値には達していないものの、コロナ禍で感染対策を行いながら、コロナ禍で感染対策を行いながら、コロナ禍で感染対策を行いながら、	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も 16. 平和と公平をすべての人に			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,558千円	1,244千円	①被表彰者数	表彰式出席率 (表彰式出席者数÷被表彰者数×100)	感謝の意を表す行事であるため、多くの方の出席が望ましい。				市表彰式と市制施行70周年記念式典を同日開催とし、場所を所沢市民文化センターミュージアムに変更実施した。コロナ禍でもあり、代表受領を行うなど式典の進行なども全て見直し、2つの式典がスムーズに流れるよう工夫した。				
	所沢市表彰事業	根拠法令	所沢市表彰規則	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	②表彰式出席者数	表彰式出席率	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		事業の目的及び具体的な内容	政治、経済、福祉、文化、スポーツ等、様々な分野で市勢の振興に寄与する市民活動を促進するため、活動の顕著であった方々を表彰する。	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	R1 目標	R1 実績			どのよう貢献したか				
		期間	S45~	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合 臨時職員	①60(人・団体) ②28(人・団体)	R2 目標	R2 実績			物品購入の際に、オープンカウンター方式を実施した。被表彰者の各活動の促進や郷土愛の増進に寄与した。				
		4,901千円	0.00人	R3 目標	R3 実績	75.0%	75.0%	評価者			秘書室長 大出 久美				
経営企画課	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	自治基本条例推進委員会の開催により、条例の運用状況の調査・検討を進め、条例の実効性が確保されているか。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	361千円	216千円	①自治基本条例推進委員会の開催回数	自治基本条例の推進	R2目標値が未達成の理由・分析				同委員会開催に代え、委員に対し自治基本条例の概要、新型コロナウイルス感染症の市民参加への影響、所沢市市民意識調査に関する書類を送付し、理解向上に努めた。				
	所沢市自治基本条例推進事業	根拠法令	所沢市自治基本条例、市民参加を進めるための条例	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	②パブリックコメント手続の実施件数(全庁)	推進	推進			どのよう貢献したか				
		事業の目的及び具体的な内容	市民等・市議会・市が課題を共有し、連携・協力しながら市民自治によるまちづくりを推進していくことを目的とする。具体的な取り組み内容としては、所沢市自治基本条例推進委員会を設置し、条例の適切な運用を図り、市民参加や情報公開の在り方について検討を行う。	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合 非常勤特別職	③総合計画及び財務に関する報告会の開催回数	R1 目標	R1 実績			新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、必要な市民参加を担保するための方法を検討する。				
		期間	H18年度~	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合 臨時職員	①0回 ②11件 ③0回	R2 目標	R2 実績			パブリックコメント手続の実施等自治基本条例の適正な運用を図り、市民自治の実現による市民福祉の増進に貢献した。				
		2,042千円	0.00人	R3 目標	R3 実績	推進	未実施	評価者			経営企画課長 小池 純一				
市民相談課	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民からの相談の状況を把握するため、各種相談による年間相談件数を指標とする。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を 13. 気候変動に具体的な対策を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	18,163千円	17,952千円	①1日当たりの相談件数	年間相談件数	R2目標値が未達成の理由・分析				新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛等求められる中でも市民の相談の機会が確保できるよう、電話での相談を開始した。				
	市民相談事業	根拠法令	所沢市市民相談員設置規定、所沢市市民相談員の勤務条件等に関する取扱要領	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	②1件当たりのコスト(会計年度職員報酬+職員手当等+相談報酬)	R1 目標	R1 実績			どのよう貢献したか				
		事業の目的及び具体的な内容	生活上生じる様々な問題について市民からの相談に対し適切な助言等を行い、自主的な解決を促進して住民の福祉向上に寄与することを目的とする。面接方式による相談を以下(①~⑧)のとおり実施している。なお、②③④の専門相談については、予約制としている。	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合 非常勤特別職	③弁護士一人当たりの休日特設相談件数	R1 目標	R1 実績			これまでの課題であった電話相談をコロナ禍での緊急措置として開始した。これを、来庁の難しい市民の利便性を高めるための相談体制構築のための試行ととらえ、実施した中での課題などを精査し、今後より相談しやすい体制づくりをしていく。				
		期間	H47~	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合 臨時職員	①11.8件 ②6519.7円 ③5件	R2 目標	R2 実績			電話相談を開始したことにより、来庁するための自動車等の使用を減らすことができ、CO2の削減が図られた。				
		12,415千円	3.00人	R3 目標	R3 実績	4,000件	4,000件	評価者			市民相談担当参事 高橋 国弘				
選挙管理委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	選挙時だけでなく、平常時においても法に基づき選挙違反を予防するための啓発活動が必要とする。	R2年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 16. 平和と公平をすべての人に			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,522千円	1,054千円	①啓発ポスター作品出品数 ②18歳パスデカード送付数 ③選挙機材貸出し件数 ④コミュニケーション掲載申請数 ⑤出前講座実施件数	啓発活動を行った月数	R2目標値が未達成の理由・分析				出前講座開催に当たって、扱うテーマに身近な選挙違反を加え臨場感ある講義を実施した。				
	明るい選挙啓発事業	根拠法令	公職選挙法	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	実績	R1 目標	R1 実績			どのよう貢献したか				
		事業の目的及び具体的な内容	市民へ選挙制度を正しく理解いただき政治や選挙に関心をもち、自らが進んで投票に参加し、選挙が適正に行われるよう、市と所沢市明るい選挙推進協議会が一体となり啓発活動に取り組んでいる。取組みでは、常時啓発として、明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催、広報などによる寄附行為禁止等のルールの周知を行い、選挙時啓発として、選挙のお知らせの全戸配布を行っている。また、投票率の低い若年層への啓発として、満18歳になった市民へのパスデカードの送付、成人のついでににおいて啓発物資を配布するなどの啓発事業を実施している。	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合 非常勤特別職	①1. 015点 ②2. 889枚 ③8件 ④6件 ⑤1件	R2 目標	R2 実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		期間	S31~	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合 臨時職員	11,637千円	0.00人	R3 目標			R3 実績		令和4年参議院議員通常選挙執行に向けて、引き続き投票行動の促進、選挙違反を防止する啓発活動を行う。		
		12,252千円	0.00人	R3 目標	R3 実績	5	5	評価者			選挙管理委員会事務局次長 小林 宏行				

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
			合計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)				
広報課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	市の情報発信については前年度実績を上回り、かつ2年連続で当該年度の目標値を上回ることができた。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに					
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	31,597千円	29,114千円	①広報紙発行部数	市民意識調査「市の情報発信に対する満足度」市の広報媒体から必要な情報が得られていると「感じる」と答えた人の割合	広報紙に特化した設問ではないものの、市の情報を得る主要な手段である広報紙への満足度を測る一定の指標ととらえ、前年度実績からの増加を目指す。											
	根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②広報紙配布部数		R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析				
	事業の具体的な内容及び目的	—	34,039千円	29,824千円	③デジタルブックの総アクセス件数		R2目標	R2実績						目標達成済				
	期間	S27年～	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	投稿やアンケートを通して寄せられる読者のご意見を参考としながら、より市民が参加しやすく、わかりやすい情報発信に努めるとともに、引き続き、記事の正確性を高める。また、若年層にも訴求する企画や紙面構成を工夫・検討し、情報発信力の向上を目指す。	どのように貢献したか	住んでいる市の情報を広く発信することで貢献した。また、作成に当たり再生紙及び植物性インクの使用により環境負荷の低減に貢献した。令和2年度は、12月号で再生エネルギーを推進する特集記事を掲載。
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	6,581千円	6,412千円	①総アクセス件数	ホームページのコンテンツ評価機能において、ページ内容が「役に立った」「みつけやすかった」と答えた人の割合	利用者が欲しい情報に容易にたどり着き、その情報が満足するものであるかが重要であるため、システムの評価機能により現状を把握するものである。											
	根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②公開コンテンツ数		R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析				
	事業の具体的な内容及び目的	—	6,801千円	6,630千円	実績		R2目標	R2実績						目標達成済				
	期間	H8年～	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①36,670,586件	R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	システムのリニューアルを行ったため、当面、運用における使いやすさの向上に努めていく。引き続きコンテンツ評価や利用者の動向を注視しながら求められるホームページのあり方を検証していく。	どのように貢献したか	住んでいる市の情報を広く発信することで貢献した。また、運用に当たっては、すべての人に等しく情報が伝わるよう、アクセシビリティに配慮している。
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	819千円	783千円	①配信件数	利用登録者数(登録メールアドレス件数)	過去の登録者数の増加実績を踏まえ、年間2,000人の増加を目指すものである。											
根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②2,528件	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析										
事業の具体的な内容及び目的	—	790千円	790千円	実績	R2目標		R2実績	目標達成済										
期間	H 20年～	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①2,528件	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	広報紙、市ホームページ、チラシ等を活用した周知活動を継続し、さらなる利用登録者数の増加を目指すとともに、タイムリーで分かりやすい情報配信に努める。	どのように貢献したか	住んでいる市の情報を速やかに発信することで貢献した。						
重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	47千円	34千円	①開催された会議の件数	公開された会議の割合(公開された会議の件数÷(開催された会議の件数-公開されなかった会議の7条2号(個人情報)を理由とした会議の件数)×100)	公開された会議の割合が増えることで、市政運営や施策形成における透明性が高まると考える。公開された会議の割合が85%前後で推移していることから、それを上回る90%を目標とした。												
根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②430件		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析										
事業の目的及び具体的な内容	—	42千円	26千円	③92件		R2目標	R2実績	目標達成済										
期間	H13～	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①540件	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	引き続き、Web会議や書面会議を含めた会議の情報を市民に公開できるよう制度を運用する。	どのように貢献したか	市政運営や施策形成における透明性を高め、市民参加を促した。						

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
市民相談課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和元年度に比べ実績値が増加した要因には、市政70周年を記念して発行されたところの歴史物語増補改訂版(204部売上)が挙げられる。また、都市計画図等については、当該図面の一部区域だけが必要である場合に、コピー対応できるようにコピー機の近くに図面を配架する等して、市民が迅速かつ容易に、また安価に必要な情報を得られるようにしており、事業の目的は推進できている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		678千円	447千円	①有償頒布数	市政情報センターの行政資料利用数(有償頒布数-都市計画図等の図面有償頒布数+行政資料貸出数)	市の保有情報を積極的に提供することが当該事業の目的となっているため「行政資料利用数」を指標とする。ただし、コピー利用を推進している図面有償頒布数は除く。令和3年度の目標数は過去5年平均数(約500件)を踏まえ、500件とした。	R2年度に改善した点						
	根拠法令	506千円		423千円	②都市計画図等の図面の有償頒布数	R1目標			R1実績			③行政資料貸出数			R2目標値が未達成の理由・分析
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	実績		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						
	市民が市政に関する正確でわかりやすい情報を迅速かつ容易に得られるようにすることを目的とする。内容としては、各課で作成又は取得した行政資料を市政情報センターで配架し、閲覧、貸出、有償頒布するほか、提供された情報について一覧表を作成し、窓口や市ホームページで公表している。	0.59人		0.00人		600件	386件								
	期間	H7~		4,904千円	0.00人	①846件	R2目標	R2実績	500件			551件			目標達成済
市民相談課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	情報公開請求が年間150~180件前後で推移しているなか、不服申立は生じておらず、目標は達成されている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		644千円	365千円	①請求件数(請求数+申出数)	公開請求に対する不服申し立て率(%) (不服申立て件数/請求件数(申出は含まない))×100	情報公開請求に対して適正な対応や丁寧な説明を行うことで、不服申立てが生じる可能性は低くなると考えられることから、指標とした。	R2年度に改善した点						
	根拠法令	595千円		183千円	②対象公文書数	R1目標			R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析			
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	実績		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						
	行政の透明化及び市民参加促進により公正・民主的に市政を推進することを目的とする。内容としては、所沢市情報公開条例に定める公文書公開請求に基づき市の保有する公文書を公開する。また、公文書の公開のほか、市政に関する正確でわかりやすい情報を市民が迅速かつ容易に得られるよう、情報公開の総合的な推進及び積極的な情報の提供に努める。	0.99人		0.00人		0.0%	0.6%								
	期間	S63~		8,229千円	0.00人	①148件	R2目標	R2実績	0.0%			0.0%			目標達成済
議会事務局	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	前年度に引き続き、読みやすい市議会だよりを目指し、作成を行っており、設定した目標も達成している。	R2年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公平をすべての人に	
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		17,584千円	17,426千円	①作成部数	市議会ホームページに掲載しているところのざわ市議会だよりPDF版へのアクセス件数	前年度実績の約5%増	R2年度に改善した点						
	根拠法令	18,639千円		17,846千円	②デジ版の作成数	R1目標			R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析			
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	実績		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						
	議会の活動を多くの市民に対してわかりやすくお知らせするため、年4回の定例会後に発行する議会広報紙である。新聞折込による配布や公共施設、所沢駅構内/パンフレットラック、医師会に加入している市内医療機関への配架を行うとともに、市議会HPでのPDF版公開、アプリ「マチイロ」への掲載等も行っている。またデジ版・点字版も作成している。	1.13人		0.40人		27,889	38,633								
	期間	S45~		9,393千円	0.40人	①517,600	R2目標	R2実績	40,565			42,225			目標達成済
議会事務局	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業を行うために必要なノートパソコン、タブレット端末、大型モニター、ビデオカメラ等、資機材の調達、また、Web会議の開催のためのライセンス取得、インターネット環境の整備など、スピード感を持ってオンライン会議開催のための環境を整えた。	R2年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公平をすべての人に	
	—	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		—	—	①打ち合わせの件数	オンライン会議の件数	打ち合せ、会議、研修、報告会、視察などにオンライン会議を利用した件数	R2年度に改善した点						
	根拠法令	1,122千円		1,013千円	②打ち合わせ以外(会議・研修・報告会等)の件数	R1目標			R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析			
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	実績		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						
	新型コロナウイルス感染拡大を想定した「新しい生活様式」の観点から、オンライン会議に必要な機器類等を整備し、議員、傍聴者並びに職員の感染リスクの軽減を図るとともに、緊急事態や災害発生時においても情報収集や議会活動を行うことで、議会機能を維持するとともに、市民が自宅に居ながら会議を視聴することが可能となるなど、市民参加の機会の拡大を図るもの。	0.00人		0.00人		—	—								
	期間	R2~		7,481千円	0.00人	①2件	R2目標	R2実績	3件			3件			目標達成済み

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
市民相談課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一時は前年度の約5~6倍の意見等が寄せられたが、共通回答での対応をはじめ、事務の見直しや処理手順の改善等により、前年度と比較して回答に要する日数を短縮することができた。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	121千円	25千円	①市長への手紙としての受理件数 ②陳情書としての受理件数	回答に要する日数(回答にかかった総日数÷件数)	市民の意見・要望・提案に、迅速、丁寧、的確に対応するため、回答に要する日数を指標とする。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	R1目標							R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析	
	個別広聴事業	所沢市市政提案箱実施要領	128千円	72千円	実績	14日	18.2日	R2目標値が未達成の理由・分析							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合							R2目標			R2実績	
		多様化する市民の意見・要望・提案に迅速、的確に対応するとともに市政運営に活かしていくことを目的とする。 専用はがき及び封書等の郵便、FAX、電話、窓口での申出、電子メール等様々な方法で寄せられる市長への手紙や陳情等による市民の意見・要望・提案を受け対応する。	0.79人	0.00人											R3目標
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R3実績	16.7日										
	S43~	6,566千円	0.00人			14日	14日								
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合					1,012件			25件				
		1.21人	0.00人	1,012件	25件										
	9,883千円	0.00人	1,012件			25件									
	0.00人	0.00人					1,012件	25件							
	0.00人	0.00人		1,012件	25件										
	0.00人	0.00人	1,012件			25件									
市民相談課	実施計画ランク	事業の種類					R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルスの感染拡大により、懇談会の開催が困難な状態が続く中、1回目の緊急事態宣言解除後は、懇談項目や出席人数を絞ったり、開催時期をずらすなどの調整を行い、可能なかぎりの感染防止策を講じた上で3回開催することができた。その結果、目標と掲げた回数には至らなかったが、工夫して開催する意識が培われた。今後も工夫を凝らしながら、開催を前提に進めていく。	R2年度に改善した点
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		24千円	13千円		①開催回数	市政懇談会の開催回数	多様な意見や要望等を聴き、市民参加による開かれたまちづくりを積極的に推進するため、開催回数を指標とする。	R2目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析									
	市政懇談会開催事業	所沢市市政懇談会実施要領	19千円	14千円	実績		7回	7回	R2目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		R2目標				R2実績					
		多様な意見や要望等を聴き、市民参加による開かれたまちづくりを積極的に推進することを目的とする。 各種団体等から要請を受け、市の施策や事業に関する意見、提案、要望等について意見交換を行う。	0.35人	0.00人							R3目標	3回			
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	7回	7回										
	S48~	2,909千円	0.00人			7回	7回								
		0.35人	0.00人					7回	7回						
		2,859千円	0.00人	7回	7回										
	0.00人	0.00人	7回			7回									
	0.00人	0.00人					7回	7回							
	0.00人	0.00人		7回	7回										
	0.00人	0.00人	7回			7回									